

ボツワナだより



商業フェアに参加しました！

8月末～9月初旬の一週間、首都ハボロネで開催された商業フェアで、JICAの事業や協力隊活動を広めるための展示をしました。

風呂敷工コバッグを販売



私の職種は環境教育です。日本文化と環境教育のコラボとして、風呂敷バッグを販売しました。日本から持参した和柄の布やボツワナの布を使用し、来場者に作り方やその趣旨を説明しました。7日間で見事完売しました！

それぞれの隊員が活動をアピール



柔道隊員が日本の挨拶やお辞儀の仕方を教えたり、コミュニティー開発隊員（地域の収入向上を支援する仕事）が地域の特産品を販売したりと、それぞれ工夫を凝らした展示を行いました。特に地域の特産品はボツワナ人の中でも知らない方が多く、良いアピールになりました。

剣玉やお手玉で遊ぶ来場者



来場者が退屈しないよう、剣玉やお手玉などのおもちゃ、浴衣や法被も用意していました。これがとても人気で、大人も子どももよくおもちゃで遊んだり、浴衣を着て写真を撮ったりして、大変喜んでくれました。

部門最優秀賞を受賞



賞を受賞したことはもちろん嬉しかったですが、「あなたたちはボツワナで何をしているの？」と来場者によく尋ねられたので、日本やJICA、私たちの活動について興味を持っていただけ、理解いただけたことが最も嬉しかったです。

▲協力隊の仲間達と手作りパネルで

写真好きなボツワナ人を狙って、顔はめパネルを手作りしました。後でJICAのFacebookページにアクセスできるようにQRコードを貼りました。予想通りたくさんの来場者達がパネルを持って記念撮影をしてくれました。



▲浴衣を着付けてあげると大喜び！

実はアフリカの多くの国で、「日本人＝中国人」と思われています。今や世界のどこにでも進出している中国企業や商店の影響で、彼らにとっては日本は北京や上海のように中国の一都市という認識です。道を歩いていても「チャイナ！」と呼び止められ、「中国から安い服を買ってきてくれ」「カンフーやってみて」「中国語を教えてください」などと言われ、日本人としては悲しくなります。私たちがこのようなイベントをすることで、協力隊の活動はもちろん、日本という国が正しく認識されるようになればと思います。

Boipuso:独立記念日

~2年目の過ごし方~

独立記念日は盛大にお祝い

昨年も書かせていただきましたが、ボツワナの独立記念日は9月30日。日本の建国記念日や終戦記念日は、残念ながら休日の一つとして過ぎ去ってしまいますが、ボツワナ人は色々な所でお祝いをします。去年は国立競技場式典を見学しましたが、今年は活動先の自治会のお祝いに参加しました。

早朝から料理を作る女性たち



どんなイベントでも、女性たちが長時間かけて大量の食事を作ります。この日は6:00に集まって料理を始めたそうです。手伝いたいと言うと、炎天下で3時間ひたすら野菜を切ることに、とても疲れしました。



ボツワナ料理は、この3本の足のついた伝統鍋で野外で調理するのが基本です。この黄色いのは、主食のソルガムです。重労働で煙たいですが、直火で長時間かけて調理するからか、どの料理もとっても美味しいんです。

動物の処理は男性の仕事



主食やサラダを作っているのは女性ですが、牛肉や山羊肉の調理は男性が行っていました。聞くと、古くから動物の処理は男性の仕事だそうです。また、昔は牛の内臓は男性しか食べてはいけないしきりもあったそうです。今では女性も食べることができ、私も下の写真の「セロベ」という牛の小腸の煮込みは大好きです。



キリスト教会からシスターも



この地域のキリスト教会からシスターが来て、讃美歌やお祈りをしました。また、経済的に恵まれない家庭への日用品の寄付もありました。



日本の寿司を振る舞う



招待してくれたお礼に、私もカッパ巻きをたくさん作って持って行きました。「なんだこれ」と言う方と「美味しい」と言う方に分かれてましたが、あまり知られていない日本食を知ってもらえて良かったです。私が見た限り、子どもを含め全部で200人くらいの方が来ていました。ご飯の後は暗くなるまで歌ったり踊ったりするそうです。



政府の支援も底を突く…

コロナ以前は、この日のお祝いのために、政府が各自治体に一定額を支給していたそうです。しかし現在は政府の支援もなく、自治会内でお金を集めています。お金が集まらずお祝いを諦める自治会もあるのだとか。どんな形であれ、この伝統はこの先も続いていくって欲しいです。

盆踊り大会とお月見

4回目の盆踊り大会が終了



私が訪問している小学校は5校。先日4校目で盆踊り大会が実施できました。1回目・2回目の反省を活かし、少人数で事前に練習したものを披露す

る方式に変えました。先生にメンバーを選んでもらい、集合させ覚えさせるのは大変でしたが「一番楽しい行事だった！」と楽しんでくれた生徒も居ました。しかし全校生で大きな輪になって踊るのは難しそうです。残るはあと1校、頑張ります！

ボツワナでお月見団子

満月が最も綺麗に見える9月に、丸いものを食べながら鑑賞するのがお月見です。こういった説明をして職場や小学校の先生方に、手作りの白玉団子を配りました。



こちらも賛否両論ありましたが、苦手な方が多かったです。理由は団子がネバネバしていること、餡子が甘過ぎることでした。甘い物が好きなのはすなのに…予想が外れました。